

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスあるふぁ、あるふぁ(児童発達支援)		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 16日		～ 2026年 2月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16名	(回答者数) 16名
○従業者評価実施期間	2026年 2月 24日		～
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	一緒に実施	(回答者数) 一緒に実施
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・利用児童・保護者のニーズに沿った支援の実施。	・3か月ベース(希望制)で面談を行っている為、直近の状況把握、困り感の共有ができています。また、希望に応じて月1の面談も実施しており、細かいすり合わせができる為、より深い支援に繋げやすい。 ・子供からの意見も汲み取り、保護者と共有し実施に繋げている為、ニーズの実現を意識的に取り組んでいる。	・現在は希望者のみ3か月ベースの為、そうでない方は半年ベースになっている。支援の向上、情報共有の為に3か月ベースの実施率を上げ、支援実施の幅を広げていけるよう配慮していきたい。 ・情報共有を深めていくことで小さな変化にも気付きやすいきっかけとなる意識していきたい。
2	・支援内容(活動場所・内容)の幅の広さ	・日々の活動については固定し、その内容を適宜変更しながら実施している。(個別活動/小集団活動) ・夏休み、祝日には、公共交通機関の利用練習や、集団活動の練習、地域資源の活用等、様々な資源の利用を通した学びになるよう配慮している。 ・仲間と楽しむことも意識してもらえるようにしている。	・次年度、学年が上がることで求められる活動や支援の内容も異なる為、各年齢に合わせた支援内容も再検討していく。 ・年齢が上がることで、児童からの希望の幅も広がってくると思われる為、実施に向けた検討も行っていく。
3	・少人数支援による支援のプレの少なさ	・概ね支援の目的や方向性を共有できている為、そこに向けた統一された支援を行うことができています。 ・職員一人一人に「自分が見る」ことに意識を向けて支援を行うことを意識している。	・より精度を上げた支援ができるようにしていく。 ・細かい疑問点などはすぐに投げかけ、疑問が残らない支援になるよう意識して取り組んでいく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・情報発信の弱さ	・意識して取り組んでいることについて、意識して情報発信ができていない為、伝わっていない事柄が多々見受けられる。その為、当日にいる利用者への伝達のみで終わってしまっている。	・情報発信手段を明確にし、適宜報告できるような仕組み作りを検討する。
2	・少人数故に外部活動にあまり参加できていない	・指定人数のみで運営していることもあり、午後開催の研修等は確実に参加できない状況にある。	・職員配置なども工夫し、幅広い参加や、情報共有に努めていけるようにしていきたい。
3	・見直しをする機会を積極的に持てていない。	・何かを実施した際に、報告書や結果のみで終えてしまっており、個人的に意識はしているが、チームとして意識しきれていないところがある。	・チームとして見直しをする習慣作りを行い、より支援内容を高めていけるようにしていく。